



2012年3月期 第2四半期 決算説明会

2011年11月17日

もっとも近くで。もっとチカラに。



株式会社 **山善**

AGENDA

- I. 2012年3月期(第2四半期)決算概要
- II. 2012年3月期の業績予想
- III. 中期経営計画進捗、当期の取り組み
- IV. 株主還元

I. 2012年3月期(第2四半期)決算概要

1. 2012年3月期(第2四半期)連結損益実績
2. 経常利益の増減要因
3. 部門別売上高実績(連結)
4. 部門別概況
5. 貸借対照表(連結)
6. 財務の状況、キャッシュフロー



2012年3月期(第2四半期) 連結損益実績①

■ 連結損益計算書

(単位:百万円)	2011年3月期 (第2四半期)	2012年3月期 (第2四半期)	増減率	公表計画 (期初)	計 画 対 比 %
売 上 高	148,130	181,012	22.2	160,000	113.1
売上総利益	18,275	23,489	28.5	—	—
販売管理費	15,855	18,113	14.2	—	—
営業利益	2,419	5,376	122.2	2,700	199.1
経常利益	2,404	5,575	131.9	2,800	199.1
特別利益	1	0	—	—	—
特別損失	84	94	11.9	—	—
当期純利益	1,581	3,309	109.3	1,700	194.6

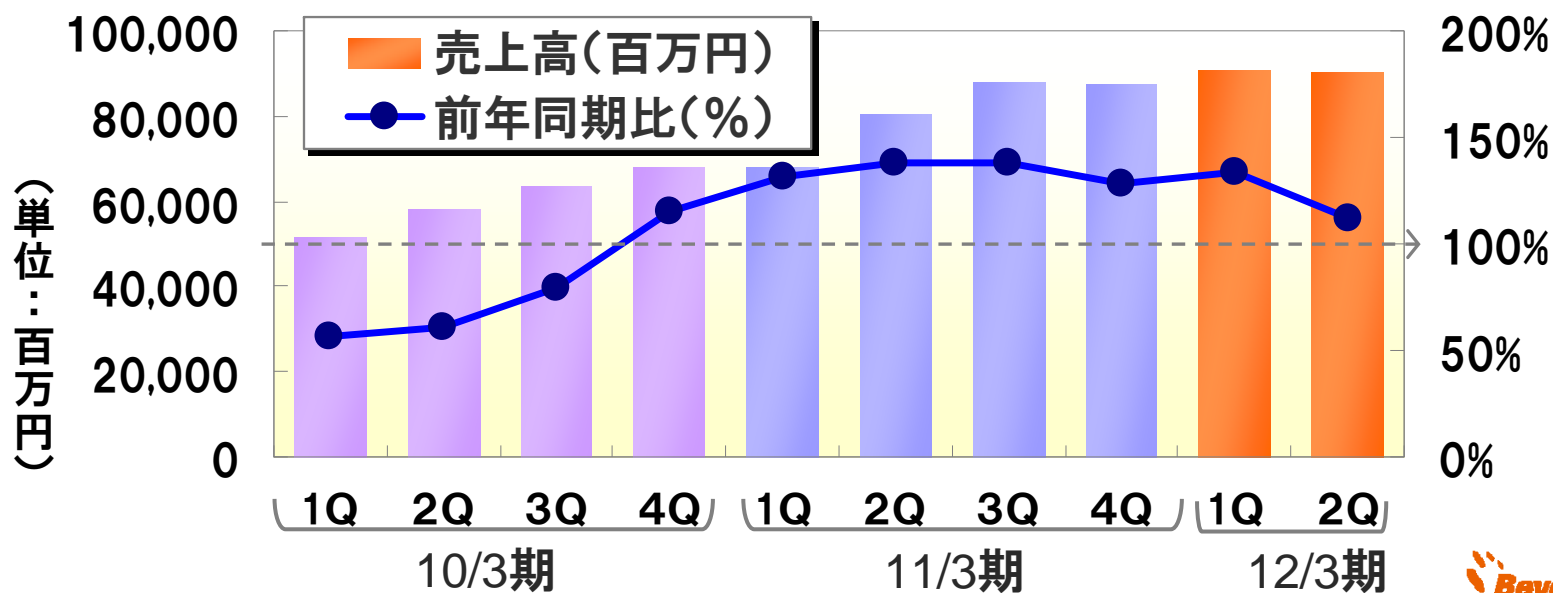
- 新興国での堅調な設備投資と、国内での節電・防災関連商品の拡大で、海外生産財事業と家庭機器事業が牽引役となり、増収増益。



2012年3月期(第2四半期) 連結損益実績②

■ 四半期推移

(単位:百万円)	3Q 2010 10-12	4Q 2011 1-3	1Q 2011 4-6	2Q 2011 7-9
売上高	88,030	87,543	90,969	90,043
営業利益	2,757	2,239	2,817	2,559
経常利益	2,835	2,384	2,940	2,635
当期純利益	1,728	1,054	1,816	1,493





経常利益の増減要因

(単位:百万円)

2010年9月
2,404百万円

売上総利益増加
(増益要因)

+5,214

国内生産財	1,020
住設建材	121
家庭機器	2,014
国際(海外生産財)	1,891
その他	165

販管費増加
(減益要因)

▲2,258

人件費関係増加	▲1,088
運賃増加	▲450
賃借・保管料増加	▲296
支払手数料増加	▲97
旅費交通費増加	▲78
その他の増加	▲246

営業外収支
(増益要因)

+215

デリバティブ評価損益差額	296
受取利息増加	62
支払利息増加	▲146
その他営業外収支差	3

2011年9月 5,575百万円

前期比 +3,171百万円



部門別売上高実績(連結)

(単位:百万円、%)	2011年3月期 (第2四半期)	2012年3月期 (第2四半期)	前年同期 増減率	公表計画 (期初)	計画 対比
工 作 機 械 部 門	17,467	22,402	28.3	20,000	112.0
産 業 シ ス テ ム 部 門	23,131	26,659	15.3	23,500	113.4
機 械 工 具 部 門	23,363	25,938	11.0	23,500	110.4
(機 工 事 業 部)	(46,494)	(52,597)	(13.1)	(47,000)	(111.9)
(国内生産財合計)	63,961	75,000	17.3	67,000	111.9
住 設 建 材 部 門	24,188	24,763	2.4	24,500	101.1
家 庭 機 器 部 門	27,524	38,596	40.2	28,000	137.8
(消 費 財 合 計)	51,712	63,360	22.5	52,500	120.7
国 際 営 業 部 門	30,631	39,704	29.6	38,000	104.5
(海外生産財合計)	30,631	39,704	29.6	38,000	104.5
そ の 他 部 門	1,824	2,946	61.5	2,500	117.8
合 計	148,130	181,012	22.2	160,000	113.1



部門別概況①:国内生産財事業(機械・産業システム・工具)



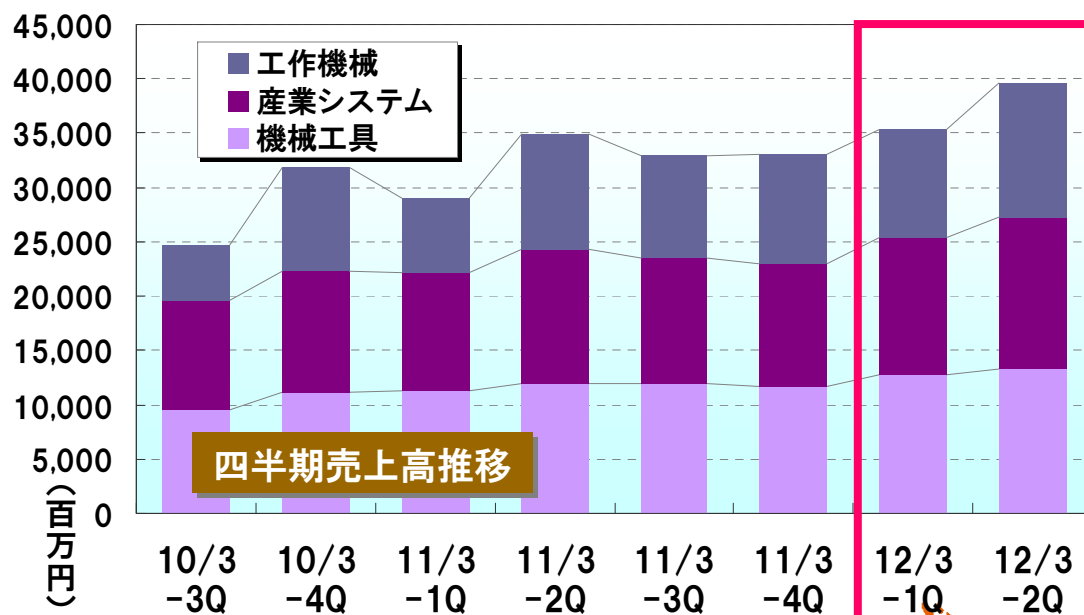
国内生産財事業



売上高 75,000百万円 (前年同期比17.3%増)

営業利益※ 1,942百万円 (利益率2.6%)

- 工作機械は震災の影響も少なく、自動車等の生産復旧により設備投資は堅調に回復。
 - 周辺機器も震災による代替や節電需要が増加。コンプレッサ、発電機、切削工具の受注が好調。

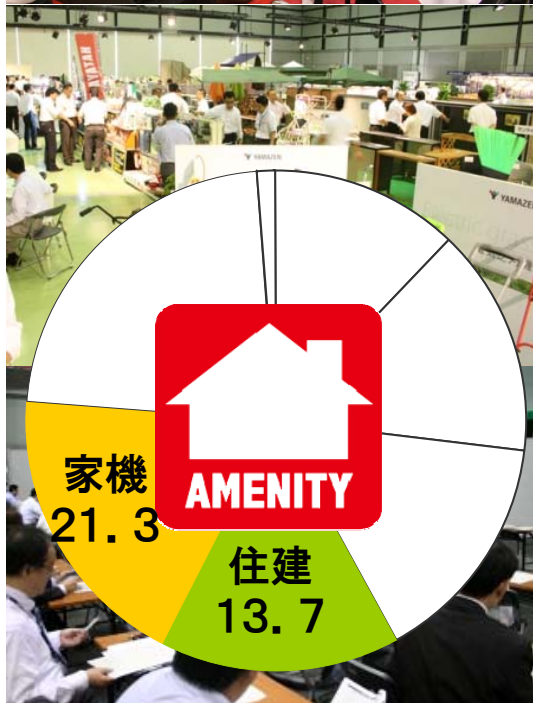


※注記:営業利益(率)は、「セグメント情報」に準拠した数値です。



YAMAZEN

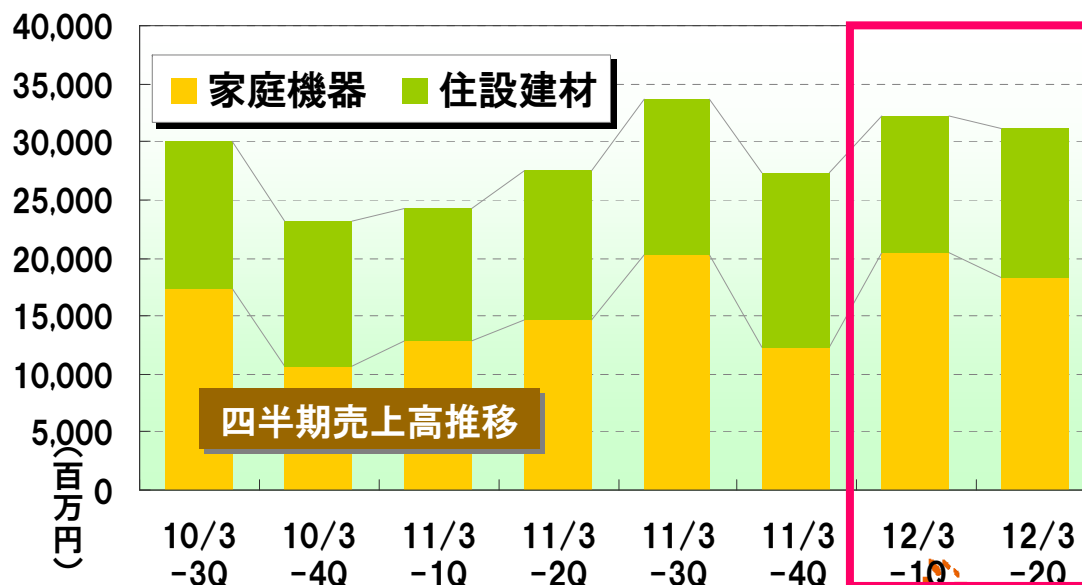
部門別概況②：消費財事業(住設建材・家庭機器)



売上高 63,360百万円 (前年同期比22.5%増)

営業利益 2,682百万円 (利益率4.2%)

- 住設建材部門は、エアコン(RA/PA)、ガス機器の取扱いが好調で全体を下支え。
- 家庭機器部門は、節電・防災・地デジ化需要を背景に、売上高は過去最高を更新。



Beyond Expectation



部門別概況③:海外生産財事業(国際本部)

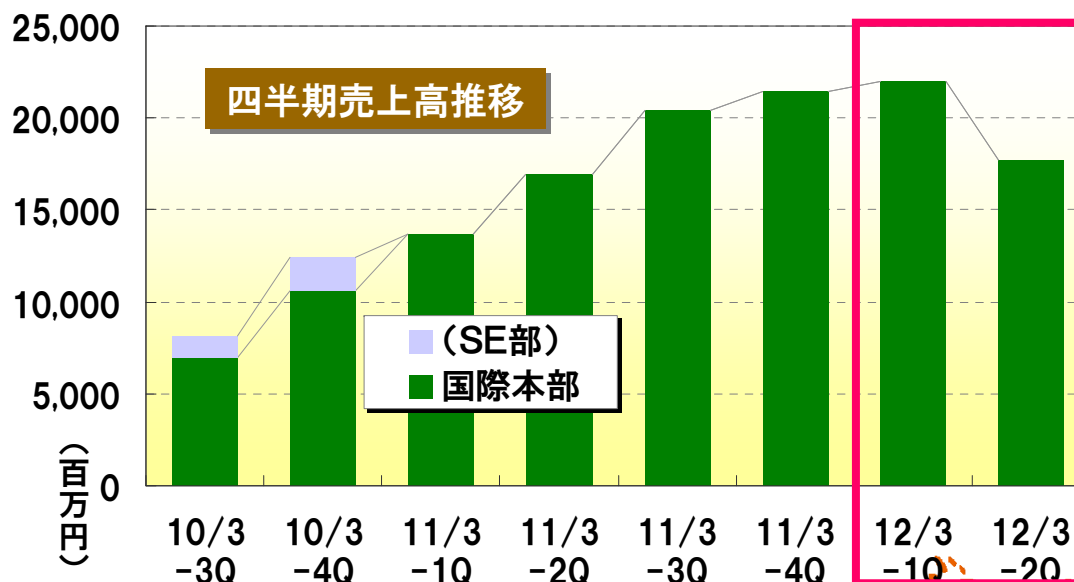


※注記:外部顧客向け売上高です。

売上高 ※ 39,704百万円 (前年同期比29.6%増)

営業利益 2,068百万円 (利益率5.2%)

- 四輪(北米)や二輪(ASEAN)の生産好調、グレーターチャイナでの設備需要も堅調に推移。
 - 一方で、2Q以降の中国での景気減速が顕在化、円高による競争力低下や、タイ洪水によるITや自動車生産への影響が拡大。



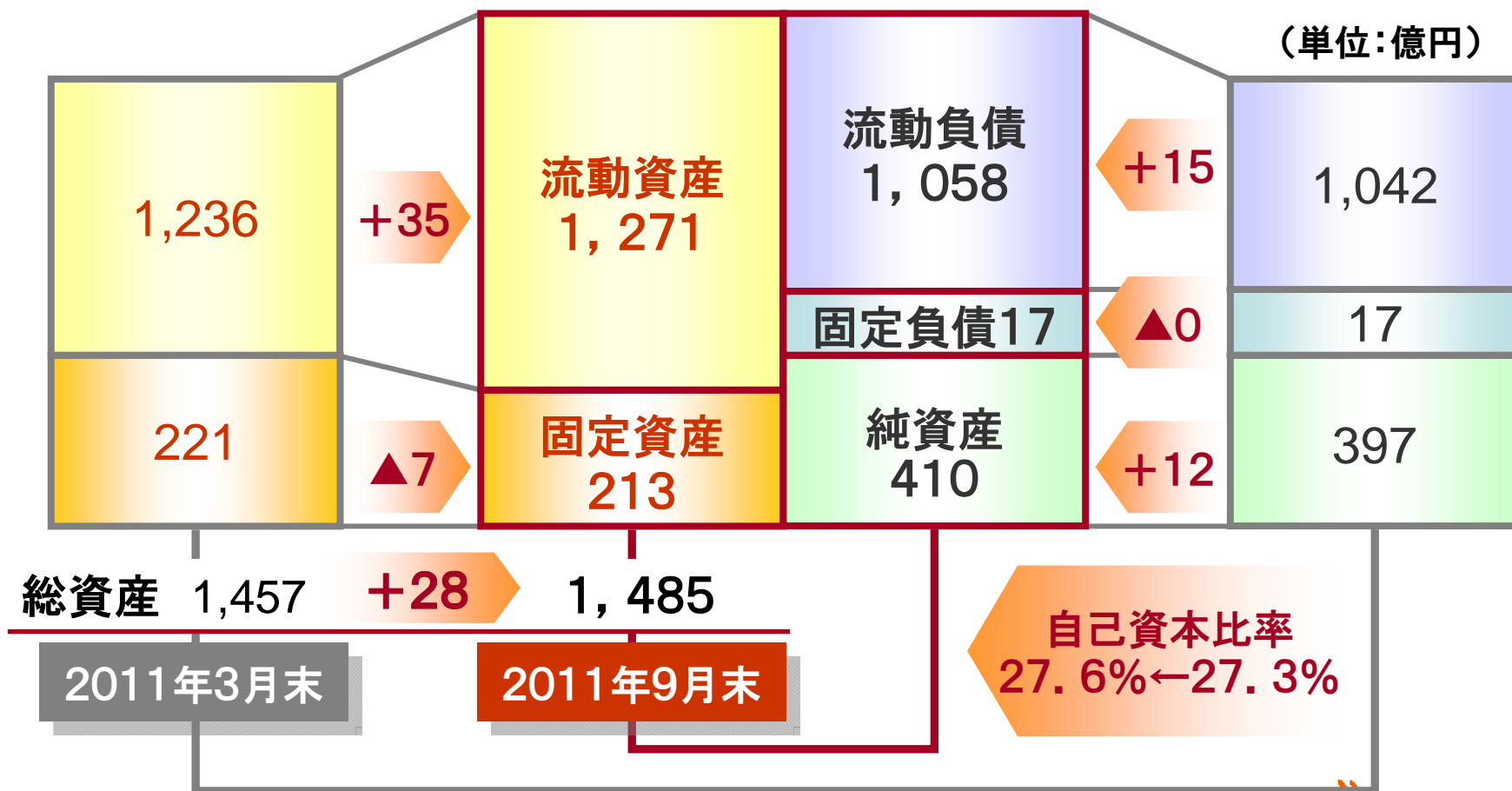


貸借対照表(連結)

➤ 売上債権／仕入債務増加などで、総資産は増加。

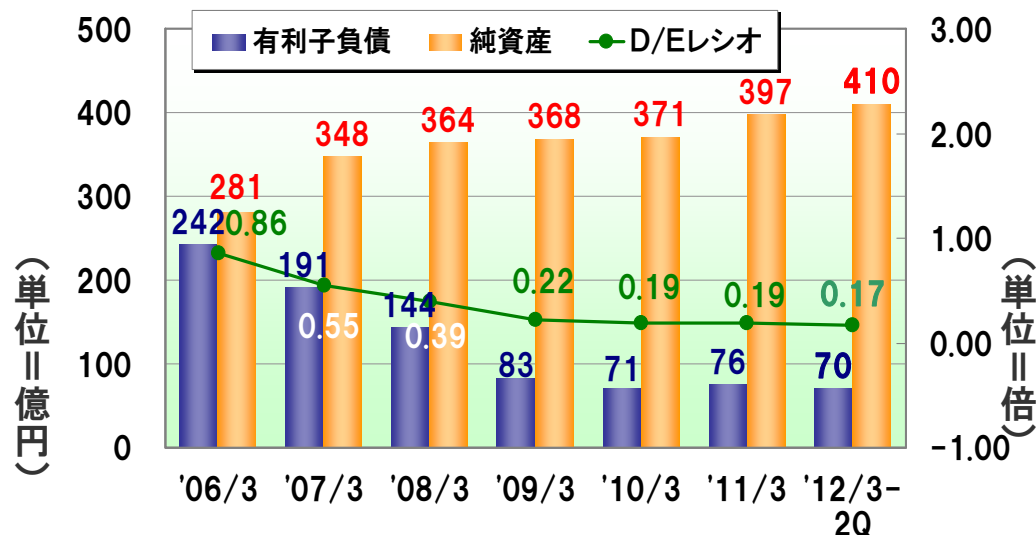
資産の部

負債・総資産の部

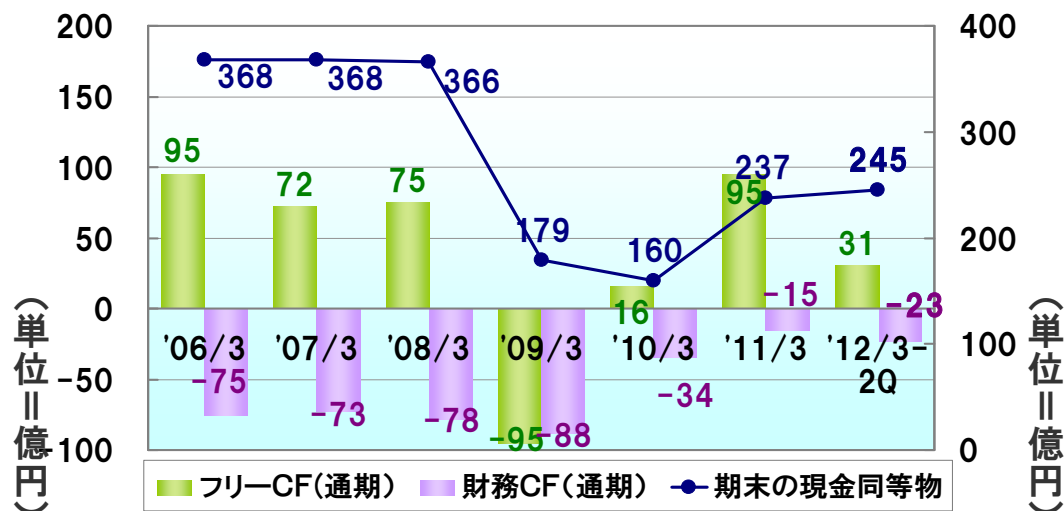




財務の状況、キャッシュフロー



※D/Eレシオ=有利子負債÷純資産



※フリーCF=営業CF+投資CF

<売買収支差>

受取手形	28,707	① 売上債権	81,418
売掛金	52,711		
支払手形	50,012	② 仕入債務	88,003
買掛金	37,991		
③ 売買収支 (① - ②)			△6,585
現金・預金	24,698	④ ネットキャッシュ	17,633
借入金	7,066		
⑤ ネット収支差 (③ + ④)			11,048

➤ 現預金を加味したネットキャッシュもプラスで実質無借金を継続。

Ⅱ. 2012年3月期の業績予想

1. 2012年3月期定量計画
2. 部門別売上高計画(連結)





2012年3月期定量計画

■ 損益計画(10. 26修正)

(単位:百万円、%)	2011年3月期 (実績)	2011年9月 (2Q実績)	2012年3月期 (修正)	前期比 増減率
売上高	323,703	181,012	358,000	10.6
< 単体 >	306,192	166,596	331,000	8.1
営業利益	7,415	5,376	9,300	25.4
< 単体 >	4,654	3,716	6,600	41.8
経常利益	7,623	5,575	9,800	28.6
< 単体 >	4,837	3,940	7,000	44.7
当期純利益	4,363	3,309	5,700	30.6
< 単体 >	2,280	2,215	3,800	66.7



部門別売上高計画(連結)

(単位:百万円、%)	2011年3月期 (第65期)	構成比	2012年3月期 (第66期)	構成比	前期比 増減率
工 作 機 械 部 門	39,583	12.2	47,000	13.1	18.7
産業システム部門	47,644	14.7	52,000	14.5	9.1
機 械 工 具 部 門	48,172	14.9	52,000	14.5	7.9
(機工事業部計)	(95,816)	(29.6)	(104,000)	(29.0)	(8.5)
(生産財部門合計)	135,400	41.8	151,000	42.1	11.5
住 設 建 材 部 門	50,645	15.6	52,500	14.7	3.7
家 庭 機 器 部 門	60,455	18.7	72,500	20.3	19.9
(消費財部門合計)	111,101	34.3	125,000	35.0	12.5
国 際 営 業 部 門	73,697	22.8	76,300	21.3	3.5
(海外生産財合計)	73,697	22.8	76,300	21.3	3.5
そ の 他 部 門	3,504	1.1	5,700	1.6	62.7
合 計	323,703	100.0	358,000	100.0	10.6

Ⅲ. 中期経営計画の進捗、当期の取り組み

1. ビジョン、中期的経営方針
2. 「VISTA-3S」で目指すもの
3. 「VISTA-3S」トピックス
4. 「VISTA-3S」3カ年定量計画(連結)
5. 当期(下期)の取り組み



ビジョン、中期的経営方針



ものづくりに貢献し、快適な生活空間を提供する存在感ある専門商社を目指す！


















「VISTA-3S」で目指すもの

VISTA 3S

VALUE, IMPRESSIONS, SPECIALIZATION,
TECHNOLOGY, ADAPTABILITY
2010.4~2013.3

3つのテーマ、 10のアクション。

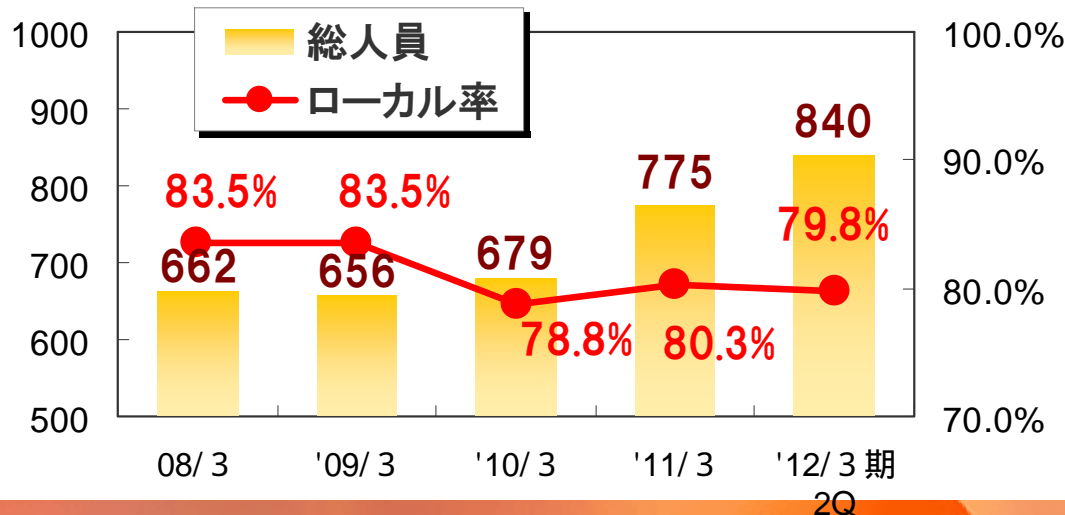
質重視によるCDへ	国内外の顧客に、ボーダレスでワンストップなソリューションを実現します。  	流通でのイニシアティブ	工作機械／内外需受注のトップシェアを狙います。 
	エンジニアリング機能と拠点網を充実させ、「質」の高いサービスを築きます。  		機械周辺機器で国内No.1の取扱シェアを目指します。 
特性を活かす	商社／ファブレス企業という特性を活かし、海外での新市場開拓と商品開発を進めます。  	ネット拡大	コンシューマ分野でPB商品のカテゴリNo.1へ。主要取引先のインスタシェア3%を狙います。 
マーケット・インへ	国内外とも、高いスキルとノウハウを兼ね備えた人材の育成と、それを支えるITインフラの整備を進めます。		BtoB & C共に、ネットの取扱高を倍増させます。  
	マーケットやニーズに即した事業体の再構築を実施します。	環境対応	環境関連機器の売上シェア25%へ。エネルギー関連機器、太陽光発電、エコキュート等の分野において国内トップクラスの取扱いを目指します。  

3つの戦略テーマ(Strategy)で“イノベーション(新機軸)”を起こし、付加価値力、感動力、専門力、技術力、変化適応力を兼ね備えた企業へ。

Beyond
Expectation

VISTA3S 2010.4~2013.3 S-I : 世界力 / グローバル対応

- 円高対応による日系メーカーの海外進出・生産シフト需要に対応。
 - ⇒ 中南米メキシコシティに駐在員事務所を設立。
- ASEAN地区での営業基盤充実・エンジニアリング力強化に向けた施策を展開。
 - ⇒ ASEAN統括長のもと、シチズンマシナリーミヤノと共同出資会社を設立。



山善

シチズンマシナリーミヤノと新会社

ASEAN市場での販売・サービスを強化

トータルソリューションを推進

シチズンマシナリーミヤノの杉本社長と山善の吉原社長

山善(吉原社長)とシチズンマシナリーミヤノ(杉本社長)は成長が期待されるASEAN市場での販売拡大を目的に、シンガポール・オーストラリア・インドの3カ国に販売・サービス・エンジニアリング機能を統括する新会社「シチズンマシナリーミヤノ・アセアン」を設立すると発表。11月7日には大阪市内の山善本社にて両社長が出席し、合弁会社設立の調印式が行われた。

杉本社長は「シチズンマシナリーミヤノ・杉本社長と山善・吉原社長は、今回の合弁会社設立は両社の深い信頼関係が基本。グローバルビジネスの展開には、互いの強みを活かすことが重要。シチズンマシナリーミヤノ・杉本社長は、製造だけでなく、アフターサービスやエンジニアリング機能の強化を重視し、両社が持つ強みを活かして、新市場を開拓していく」と述べた。

吉原社長は「山善の資本を軸として、ASEAN市場での販売・サービスを強化し、両社が持つ強みを活かして、新市場を開拓していく」と述べた。

市内の山善タイ現地法人本社内には山善の福田住吉ASEAN統括長と、杉本社長は15名で、社長に杉本社長が就く。設立は2012年1月1日付で、主な事業はシンガポール・オーストラリア・インドの3カ国に販売・サービス・エンジニアリング機能を統括する。ASEAN地域では、2年前から山善がシチズン代理店として、シンガポールの販売・サービスの拡大を目的に、今年4月の「シチズンマシナリーミヤノ」誕生に伴い、新たにミヤノ・オーストラリア・インドの3カ国に販売・サービスを統括する。ASEAN地域では、2年前から山善がシチズン代理店として、シンガポールの販売・サービスの拡大を目的に、今年4月の「シチズンマシナリーミヤノ」誕生に伴い、新たにミヤノ・オーストラリア・インドの3カ国に販売・サービスを統括する。ASEAN地域では、2年前から山善がシチズン代理店として、シンガポールの販売・サービスの拡大を目的に、今年4月の「シチズンマシナリーミヤノ」誕生に伴い、新たにミヤノ・オーストラリア・インドの3カ国に販売・サービスを統括する。

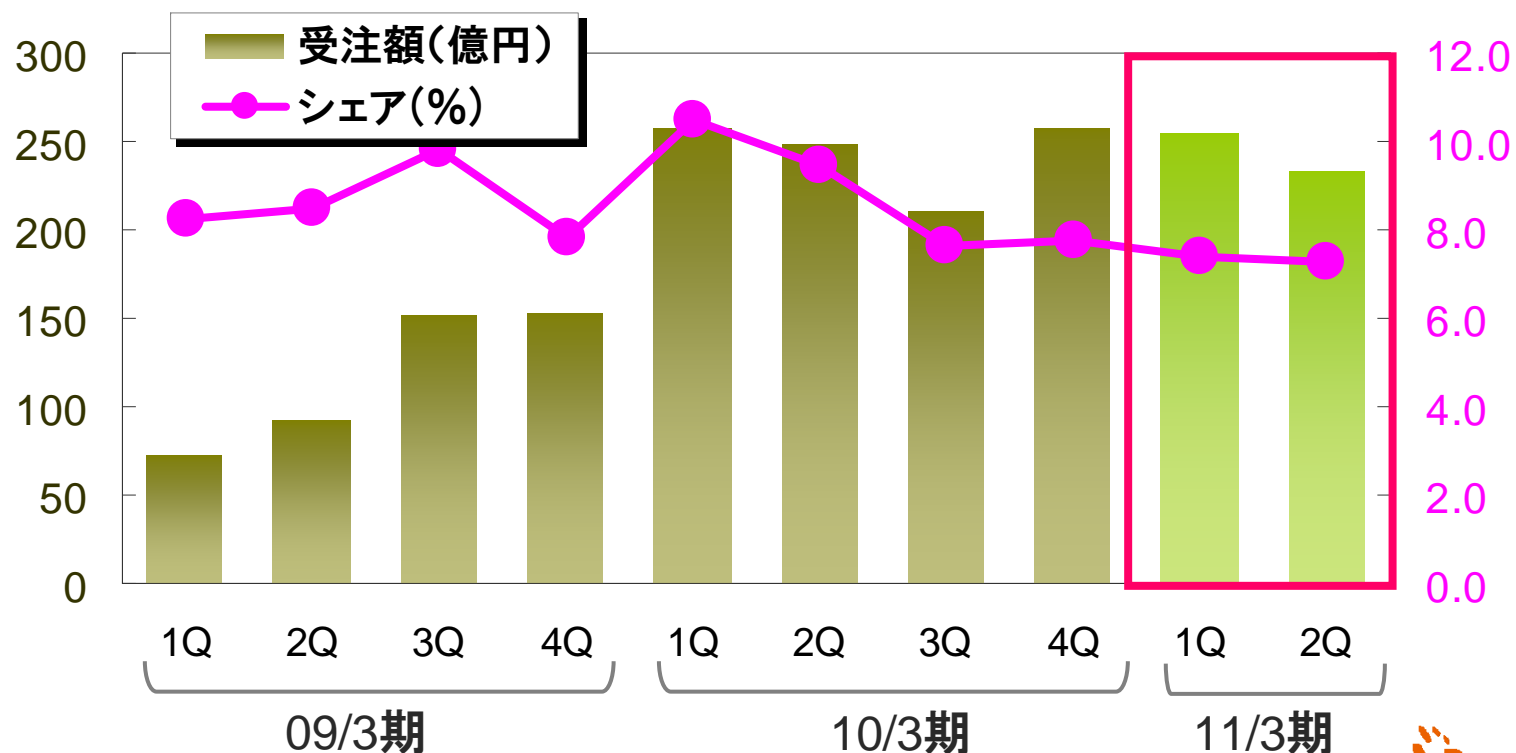


「VISTA-3S」トピックス②

VISTA 3S
2010.4~2013.3

S-II：専門力／シェア拡大

- 工作機械受注額(4-9月累計)は、490億円／シェア7%※に。
 - ☉ 切削工具(前年同期比110%)、補要(同115%)などの周辺ジャンルも伸展。





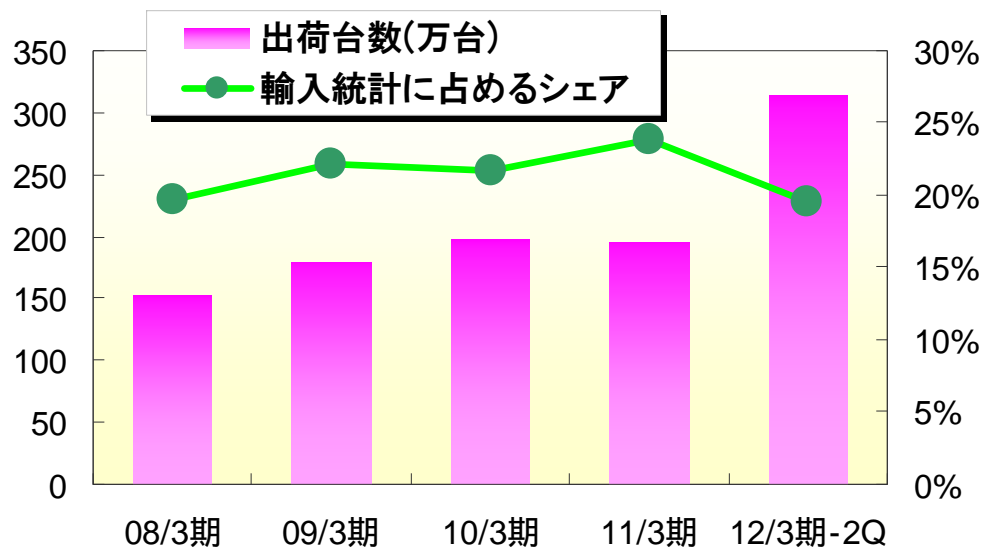
「VISTA-3S」トピックス③

VISTA 3S

2010.4~2013.3

S-II：専門力／商品・サービス開発

➤ 節電・防災・地デジ化～上半期オリジナル商品のヒット・アイテム



扇風機類／累計315万台



地デジチューナー／累計80万台



Beyond Expectation



「VISTA-3S」3カ年定量計画(連結)①

■ 損益計画(公表)

(単位:百万円)	2010年3月期 (実績)	2011年3月期 (実績)	2012年3月期 (修正)	2013年3月期
売上高	241,410	323,703	358,000	350,000
営業利益	836	7,415	9,300	8,500
経常利益	955	7,623	9,800	8,500
当期純利益	438	4,363	5,700	4,800

■ 主要財務指標(公表)

(単位:%)	2010年3月期 (実績)	2011年3月期 (実績)	2012年3月期 (2Q実績)	2013年3月期
売上高営業利益率	0.3%	2.3% (初期目標1.1%)	3.0% (通期目標2.2%)	2.5%
総資産営業利益率	0.7%	5.6% (初期目標2.3%)	3.7% (通期目標5.0%)	5.5%
CFマージン率	0.6%	2.6% (初期目標1.0%)	1.5% (通期目標1.7%)	2.5%



「VISTA-3S」3ヵ年定量計画(連結)②

■ 部門別売上高計画

(単位:百万円、%)	2010年3月期 (第64期)	2011年3月期 (第65期)	2012年3月期 (第66期)	2013年3月期 (第67期)
工 作 機 械 部 門	26,529	39,583	47,000	58,000
産業システム部門	39,754	47,644	52,000	58,000
機 械 工 具 部 門	38,382	48,172	52,000	52,500
(機工事業部)	—	(95,816)	(104,000)	(110,500)
(国内生産財合計)	104,667	135,400	151,000	168,500
住 設 建 材 部 門	47,751	50,645	52,500	57,000
家 庭 機 器 部 門	53,941	60,455	72,500	66,000
(消費財部門合計)	101,692	111,101	125,000	123,000
国 際 営 業 部 門	31,875	73,697	76,300	54,700
(海外生産財合計)	31,875	73,697	76,300	54,700
そ の 他 部 門	3,173	3,504	5,700	3,800
合 計	241,410	323,703	358,000	350,000



「VISTA-3S」3カ年定量計画(連結)③

■ 設備投資計画

(単位:百万円)		2010年3月期 (実績)	2011年3月期 (実績)	2012年3月期 (通期見込)	2013年3月期 (通期計画)
有形固定資産	新規投資額	302	100	83	100
無形固定資産	新規投資額	959	179	199	538
単	体	小	計		
		1,261	279	282	638
連	結	ベ	ー	ス	
		1,300	380	495	750
有形固定資産	減価償却費	315	310	250	214
無形固定資産	減価償却費	437	492	310	500
単	体	小	計		
		752	802	560	714
連	結	ベ	ー	ス	
		830	872	677	850



当期(下期)の取り組み

(単位:百万円)	2012年3月期計画		トピックス
	売上高	営業利益	
国内生産財部門	151,000	3,800	工作機械年間受注500億へ。新エネ・ロボット・切削に焦点を当てた取組みを推進。
住設建材部門	52,500	1,300	リフォームルートの開拓。太陽光発電システムを中心に、環境機器販売に注力。
家庭機器部門	72,500	3,500	冬物PB販売、250万台を計画。ネット販売強化に向けたインフラ整備を実施。
国際営業部門	76,300	3,300	自動化・省力化ニーズに即した新規商品の開発。タイ復興に向けた準備を開始。
合計 ※	358,000	9,300	(※その他・本社費用等を含む合計)

下半期オススメオリジナル商品 & サービス

**賃貸アパート向け
太陽光発電システム**

入居率アップ!!
収入アップ!!
イメージ戦略!!

オーナー様の経営戦略に合わせて
4タイプの設置方法からご検討いただけます!!



第13回
山善Gが36社製品・技術を出品
東莞国際模具及金属加工展

11月16日から19日 中国・東莞で開催






株主還元、配当性向について

□ 基本的な考え方

- △ 企業体質の一層の充実強化と収益力の向上を図り、株主の皆様へ安定的な配当を基本とした上で、利益水準を考慮し、連結配当性向は25%を目途に利益還元を行います。
- △ 内部留保金につきましては、株主資本の一層の充実を図りつつ、持続的な事業発展の実現に向けて有効な投資に充当し、中長期的な成長による企業価値向上を通じて、株主の皆様のご期待に応えてまいります。

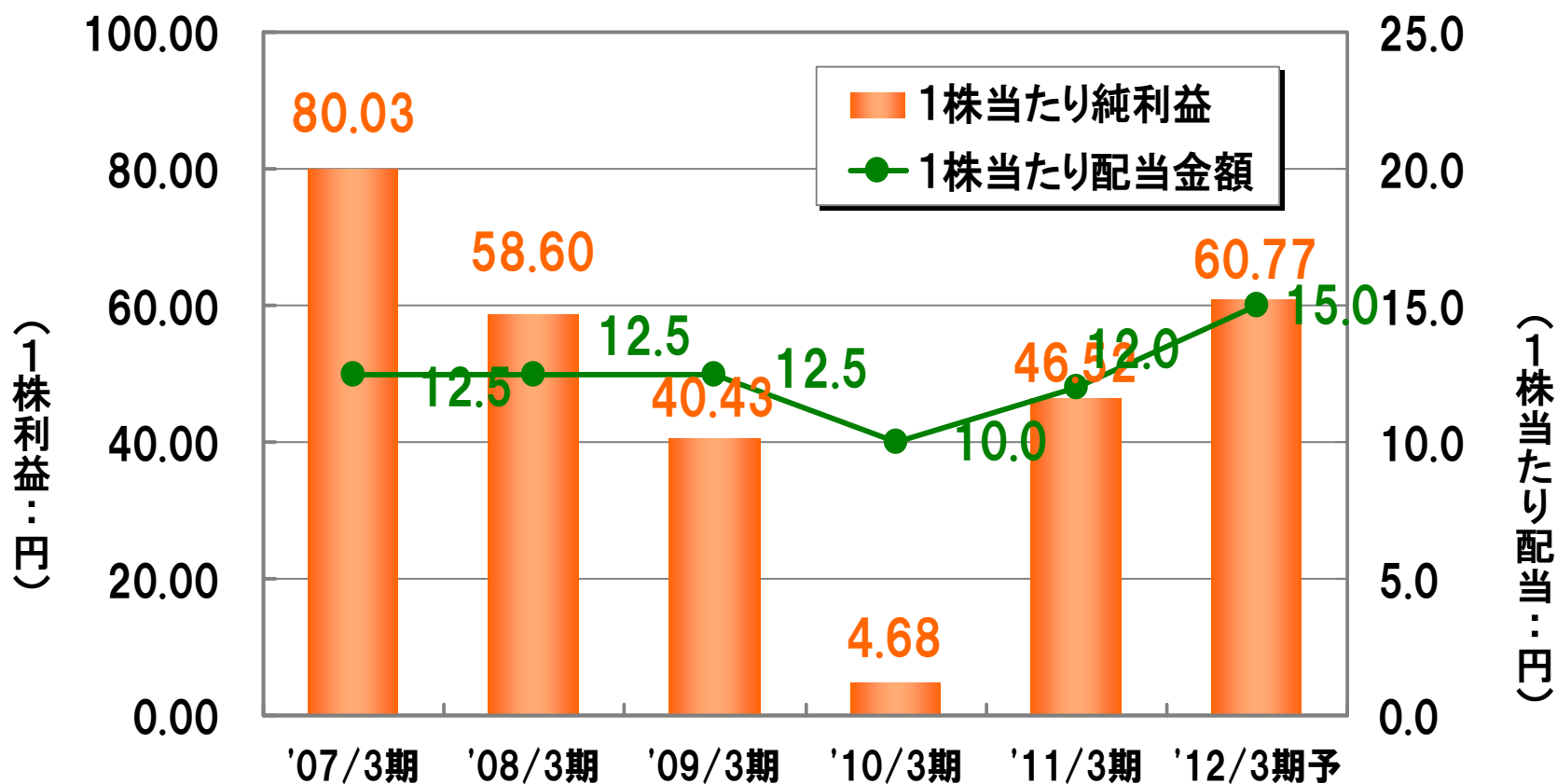
■ 配当金の推移

		'08/3実	'09/3実	'10/3実	'11/3実	'12/3予
連結配当性向		21.3%	30.9%	213.7%	25.8%	24.7%
配当金額	中間	5.0円	5.0円	5.0円	5.0円	7.0円
	期末	7.5円	7.5円	5.0円	7.0円	8.0円



当期の配当

- 連結配当性向:24.7%を予定。
- 配当金額:中間7.0円+期末8.0円=年間15.0円に増配。





この資料には、当社の計画及び業績見通し等が含まれております。将来の計画や予想数値などは、現状の入手可能な情報により、計画・予測したものであります。実際の業績等は、今後の様々な条件・要素によりこの計画等とは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。